

八女学院 広川幼稚園

1、教育理念

「役に立つ人物になれ」

幼児ひとりひとりが将来自立して大人になり人間としてどんな時も生き抜いていくための基礎教育を行います

2、教育目標

- ・挨拶できる元気な子ども
- ・心身ともに健康でたくましく素直な子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども
- ・自分を大切に、友達も大切にできる子ども

3、教育方針

- ・幼児期にふさわしい様々な体験や活動を通して人として生きる豊かな心を健やかな体を育てます
- ・子どもの自発性・主体性を重んじてできるだけ自分でできるように見守っていきます
- ・自立・自尊を育める環境を作り、子どものひとりひとりの人格を尊重し、その子の思いや行動を大切に、援助していきます

4、各学年重点目標

- ・友達と教師と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ（満3歳児）
- ・友達と一緒に活動する楽しさを知り、自分の思いを言葉や態度で表現する（年少）
- ・友達と関わり、遊びや活動を展開する楽しさや喜びを味わい、充実感を味わう（年中）
- ・人や物と関わる中で様々な感情を体験し、色々な活動において積み重ねることで、身につける（年長）



学校評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況	評価			
・園の教育理念を理解しているか また、達成するための保育が できているか。	年度始めに共通理解を図り教理理念目標に添い、現在の保育の課 題を研究し職員で取り組んでいる。今後も振り返りながら進めて いきたい。	A	B	C	D
		9	6	1	
		A			
・子どもが伸び伸びと行動し、 充実感が味わえるように工夫し ているか。	子供の遊びや活動が発展するヒントとなる環境作りは、今後も心 掛けていく。	A	B	C	D
		8	8		
		A			
・子どもが進んで戸外遊びでの活動 を楽しむ配慮や工夫がされてい るか。	固定用具に限らず、新たな取り組みや遊具が設置されたことで子 供たちが戸外で遊びを楽しむきっかけとなる工夫がなされた。	A	B	C	D
		5	8	3	
		B			
・子どもが安田式や、様々な遊びの中で 十分身体を動かすことが出来るよう援助 や働きかけを行っているか。	運動場で十分身体を動かす時間を設けたり促したりすることがで きた。	A	B	C	D
		7	9		
		B			
・健康で安全な生活に対して必要な 習慣や態度を身につけていけるよう 工夫しているか。	戸外遊び後、給食の前の手洗いを一斉指導で伝え、絵カードを掲 示することで日頃から目につき、行動へと移すことができるよう に工夫した。又、常に声掛けや見守りを継続することで自ら行動 し身についた。	A	B	C	D
		7	9		
		B			
・子どもが自分で行動することの充 実感が味わえるよう援助を行って いるか。	子供の状況を把握しつつ子供たちが自らやってみよう、挑戦した い、作ってみたい等の達成感や充実感を得られるよう保育を考え 行っている。	A	B	C	D
		6	8	2	
		B			
・相手の思いや気持ちに気付いてい けるような援助や機会を設けてい るか。	子供同士のトラブルに関しては、一人ひとりに寄り添い話を聞 く。又、相手の気持ちを考える時間を作ったり全体で話をした りして援助を行った。	A	B	C	D
		10	4	2	
		A			
・園生活の望ましい習慣や態度を身 につけるための指導を行ったり、機 会を設けているか。	朝の会、考えるノート等での姿勢の維持を身につけることができ ている。引き続き意識してできるように環境作りをしたり言葉掛 けをしていきたい。	A	B	C	D
		5	7	4	
		B			
・異年齢との関わりの中で、愛情や 信頼感を持てるよう工夫してい るか。	全学年での活動や合同サーキットなど交流があり、下の学年の子 に優しく接したり、手本になるような姿を見せる場面が見られ た。	A	B	C	D
		3	8	5	
		B			
・身近な環境に親しみ、様々な事象 に関心を持てるよう工夫されてい るか。	コーナー遊び等を通し、工夫して取り組んでいる。今後も続けな がら呼びかけ、更に関心を持てるよう行っていく。	A	B	C	D
		5	7	4	
		B			
・遊びや生活の中で数量や文字、図 形などに関心を持つ工夫がされて いるか。	毎朝、数、文字のカードを繰り返し行うことで徐々に読むことに 興味を示し、絵本の時間に進んで文字を読もうとする姿が見られ た。	A	B	C	D
		2	9	5	
		B			
・子どもが自発的に活動したり遊 べる環境が整備されているか。	室内遊びでは、コロナの影響で制限する部分もあったが戸外遊び では主体的に遊ぶ姿が見られた。3学期からコーナー遊びの充実 を図り、少しずつ遊びの環境を整えている。	A	B	C	D
		4	8	4	
		B			
・子どもの遊びや活動が発展する ヒントとなる配慮や工夫がされて いるか。	活動の中や自由遊びの中で、子供たちが同士が意見を出し合ったり 考えたりする機会を設け、取り組むことができた。	A	B	C	D
		3	8	5	
		B			
・子どもが自分の気持ちを自分な りに表現した時、それを受け止めて いるか。	言葉での表現だけでなく、その子なりの表現方法を受け止め理解 しようと寄り添うことを心掛けた。	A	B	C	D
		11	5		
		A			
・子ども達自身が友達同士で話し合 えるように工夫されているか。	年齢、月齢によるが話し合える環境作りに努め様子を見守る。自 分たちでどう解決・進めていくか、時にいくつか提案しながらも 自分たちで決められるように見守る。	A	B	C	D
		9	5	2	
		A			
・生活や遊びの中からできた言葉や アイデアが保育に生かされてい るか。	生活や遊びの中で、自分からアイデアを出し保育に生かすこと ができなかった。どうすれば楽しくできるか考える事が課題であ る。	A	B	C	D
		2	12	2	
		B			

・子ども自身が挨拶の意味を知り、進んで言えているか。	担任に対しては、自ら挨拶できる子が多いが、来園者に対しては進んで挨拶することが課題。保育者の促しでは上手にできているので、自信を持ち挨拶できる声掛けや上手な子を褒めていく。	A	B	C	D
		6	7	3	
		B			
・絵本や紙芝居等の時間や内容を考慮し、工夫して積極的に取り入れているか。	帰りの時間等に絵本や紙芝居の時間を作ることができた。図書室利用も全体的にできており、絵本の時間が増えた。	A	B	C	D
		6	7	3	
		B			
・子どもの表現しようとする意欲を受け止め、また子どもが様々な表現を楽しむことができるように配慮しているか。	制作にて色の選択は自由だったものの作品を自由に作るという提供ができなかった為、自由な発想を受けとめることができなかった。	A	B	C	D
		4	9	2	
		B			
・子どもの生活の中で様々な音・色・手触り・動きなどに気付いたり、楽しんだりできるよう工夫されているか。	コーナー遊びで、子供たちが自由に作って楽しむ環境作りができた。又、感触遊びも保育内容に取り入れ実施することができた。今後も継続していきたい。	A	B	C	D
		6	8	2	
		B			
・子どもが自由に音や動きで表現する機会が設けられているか。	園務文掌で提案したりリズム遊びでは、各クラスの実施が見られた。音に触れる機会も設けられた。	A	B	C	
		1	14	1	
		B			
・子ども達が日常的に歌を唄う機会が設けられているか。	日々の生活の中で歌を唄う時間を設け、行事においても歌に親しみ歌う機会が設けられている。月の歌を口ずさんだり、お気に入りの曲を歌う姿が見られる。	A	B	C	
		12	3	1	
		A			
・身体を使った様々な表現遊びが取り入れられているか。	リズム遊び等の表現遊びの取り組みに差があり、更なる継続的な取り組みが望ましい。	A	B	C	D
		5	4	5	2
		A			
・子どもの作品で個性が活かされる部分を取り入れられているか。	制作の中で空いたスペースに、クレヨンで描いたり折り紙を準備したりして、子供たちが想像しながら取り組めるよう一斉指導ではなく自由に表現する時間を作った。	A	B	C	D
		6	5	4	1
		A			
・積極的に研修会に参加し保育者としての資質の向上を目指しているか。	研修においてクラスだよりの書き方を行い、子供の姿、育ちの記録をすることで保育の見直しができ、資質の向上を図る事ができた。少しづつ「10の姿」を学び意識してできているものの今後の課題でもある。	A	B	C	D
		1	9	6	
		B			
・専門書や雑誌を読むなど、保育技術を高めるための努力をし、習得したことを実際に保育に生かしているか。	専門書を参考にしながら、保育や行事内容の手がかりとして活用するなど、年間を通してよく手にとり実践してきた。	A	B	C	
		4	2	10	
		C			
・子どもの様子や育ち・保育などを保護者に分かりやすく伝えるよう工夫しているか。	参観を通し、その月の子供の様子を見もらうことができた。連絡帳やお迎えの時に伝えたりSNSを通し日常の保育の様子を発信できた。	A	B	C	
		1	14	1	
		B			
・保護者の質問や意見を聞き情報交換をすることにより、幼稚園と家庭が子どもの望ましい発達を促すための生活について考えていけるような連携が取れているか。	送迎時に園での様子等情報交換はできているが、バス通園の保護者に対し連絡帳にての連絡が不十分であることが課題である。	A	B	C	
		6	9	1	
		B			
・小学校と連携を取り、就学前に関する問題などを家庭へ情報提供できているか。	連絡会を通じて、小学校との連携を行った。小学校の課題や問題の情報を得ることが課題である。	A	B	C	
		5	4	5	
		A			
・室内や園庭の安全に関して、定期的に点検・改善を行っているか。	室内、園庭の安全を定期的に点検し、改善できる。	A	B	C	
		6	2	8	
		C			
・緊急事態に対して敏速に対応できているか。	定期的に避難訓練を行うことで、火事・地震への対応の準備ができていていると感じる。不審者対応については、年一回の実施の為、今後回数を増やすことを検討する必要がある。	A	B	C	
		4	7	5	
		B			

・薬品の取り扱いに十分配慮しているか。	薬品等の交換や確認に不足があった。今後確認が課題である。	A	B	C	
		9	6	1	
		A			
・園庭は常に整備されていて、室内は清掃・消毒が行き届き、清潔であるか。	次亜塩素酸での消毒を徹底している。園庭には季節の花が咲き明るく感じ、どんぐりもなり子供たちには季節を感じる良い環境である。	A	B	C	
		5	7	4	
		B			
・保育室は整理整頓が行き届き、安全に配慮した環境にしているか。	棚や押し入れの中を十分に整理することができなかった。子供たちが使う、本やブロック等は、定期的にでき、安全に配慮した環境作りができた。	A	B	C	
		12	4		
		A			
・出席簿は毎日記入し、子どもの欠席状況などをしっかりと把握して、欠席児への配慮をおこなっている	出欠を必ず確認し、連絡がない時は保護者に連絡を入れ、確認をした。	A	B	C	
		12	4		
		A			
・個々の子どもの心身の状況を把握したり、配慮しながら保育をしているか。	個々の子供の心身の状況を把握し、保育実施ができています。今後も子供の姿を観察し配慮しながら活動していく。	A	B	C	
		6	8	2	
		B			
・園からの配布物（手紙など）は決められた期日に配布しているか。	配信する形となり配布物が減り、やりやすさを感じた。大事な配布物においては、朝礼で確認することで確実に配布できた。	A	B		
		16			
		A			

